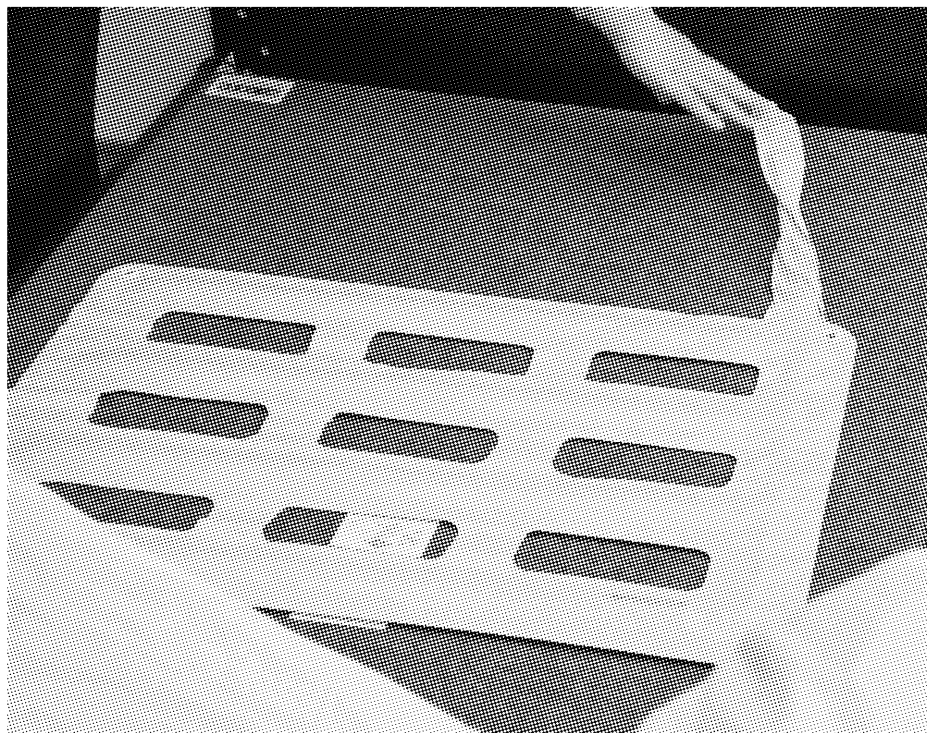


ベッド下に設置したセンサー



長谷工シニアホールディングス

高齢者施設運営

IOT導入健康寿命延ばす

IOT(モノのインターネット)などの先進技術を使った品質向上の取り組みはサービス業にも広がっている。高齢者施設の運営などを手がける長谷工シニアホールディングス(東京都港区、浦田慶信社長、03・5427・6480)は、センサーで睡眠状態を把握するIOT機器を施設に導入した。認知

症の兆しや生活の変化を早期に把握し、入居者の健康寿命を延ばすことが目的だ。

2017年12月に開設した有料老人ホーム「ライフハウス新所沢」(埼玉県所沢市)は、重度の介護を必要

とする、高齢者を対象とした入居施設。食堂や大浴場、コミュニケーション施設を備えて生活をサポートする。

同ホームは睡眠をモニタリングして医師が変化をチェックする非接触型のIOTサービス「ライフリズムナビ」を採用した。Dr.」を採用した。

石田広太(東京都千代田区)の「一睡眠の質に不安を持つ高齢者は多い。ライフリズムナビは医師がデータを分析して助言してくれる点が他の睡眠管理と違う」と利点を挙げる。

このIOT機器を開発したエコナビスタ(東京都千代田区)の渡邊君人社長は「認知症患者は眠りが浅くなる。ちょっとした睡眠の変化が体調の変化の兆しになる」とデータの重要性を説く。同ホーム以外にも30以上の高齢者施設に採用されている。

長谷工シニアは、新規に開設する施設にライフリズムナビを設置していく方針だ。他のIOT機器やロボットも活用しサービス品質を高める。

長谷工シニアは、新規に開設する施設にライフリズムナビを設置していく方針だ。他のIOT機器やロボットも活用しサービス品質を高める。

長谷工シニアは、新規に開設する施設にライフリズムナビを設置していく方針だ。他のIOT機器やロボットも活用しサービス品質を高める。

長谷工シニアは、新規に開設する施設にライフリズムナビを設置していく方針だ。他のIOT機器やロボットも活用しサービス品質を高める。

発見

先進の現場

▷39

同ホームは睡眠をモニタリングして医師が変化をチェックする非接触型のIOTサービス「ライフリズムナビ」を採用した。Dr.」を採用した。

石田広太(東京都千代田区)の「一睡眠の質に不安を持つ高齢者は多い。ライフリズムナビは医師がデータを分析して助言してくれる点が他の睡眠管理と違う」と利点を挙げる。

このIOT機器を開発したエコナビスタ(東京都千代田区)の渡邊君人社長は「認知症患者は眠りが浅くなる。ちょっとした睡眠の変化が体調の変化の兆しになる」とデータの重要性を説く。同ホーム以外にも30以上の高齢者施設に採用されている。

(石橋弘彰)
(金曜日に掲載)